

アンデスの風

ボゴタ日本人学校だよりNo. 337
(平成28年度 第1号)

平成28(2016)年5月20日



ASOCIACION CULTURAL JAPONESA
Cra.8H No. 170-35 BOGOTA COLOMBIA
Tel+571-670-5130 Fax+571-672-7509
E-mail : bogota_a_c_j@yahoo.co.jp
URL : <http://www.bogota.acj.com>

校長 平野 恵彦 (2016.5.4)

5月3日(火)

全校集会、生活指導の「めあて」は、坪池先生から『「おはようございます」や「ありがとうございます」をていねいに言葉にしましょう。』でした。世界一の「おはようございます」と「ありがとうございます」が言える子どもたちにしたいと思えます。(生活指導から)



5月4日(水)



ジャンケン列車の様子

みんなでムルチ・パルケに新入生歓迎遠足に行きました。いろいろなゲームをしたのですが、地元の人々の好奇心を引きつけたようです。集団遊びは日本の伝統です。ルールを用いた遊びからの学びは多いと考えています。上級生が下級生の面倒をみることもボゴタ日本人学校の良き伝統です。(歓迎遠足から)

いつもと変らぬ風景 があります。鶏小屋には、朝の7時過ぎになりますと、スズメに似た黄色い小鳥が、忙しげに水浴びとエサを啄みにやってきます。ほんの僅かな時間なのですが、いつもと変らぬ仕草です。

(この頃では、学校で見られる鳥も10種類ぐらいは見分けがつくようになりました。)

第40回入学式から1月、朝太鼓の練習は今年も変わらず、熱心に取り組んでいます。いつの頃から、全校朝太鼓が始まったのでしょうか……。

40年の歴史の中で、先達は苦勞して太鼓をいくつも買い足したことでしよう。寄贈もあります。

今では、大小12張りあって、和太鼓の周りで元気よく、テンポよく演奏しています。

春休み、来校した子どもが靴箱の新しい名札やリボンを小さな指で数えはじめました。



16を超えたところで「エッ……」と、

名札が21になりました

後ろに振り返り、先生に満面の笑みで何やら話しかけようとしています。「21もあるよ。」と……よほど嬉しかったのでしよう。「友だち」は、子どもたちへの何よりものプレゼントです。今年の太鼓演奏は21名で大迫力です。

関係各位のご尽力に、心より感謝する次第です。（平成28年度新学期 5名増）

いつもと変わらぬ昼食を済ませ、サッカーや鬼ごっこに出かけていきました。しばらくすると子どもがいないテーブルの下でミッラ（九官鳥に似た鳥）が溢したご飯やらを啄んでテラスを綺麗にしています。

多少の変遷はあっても、先達が残した「いつもと変わらぬ営み」は脈々と生き続けています。

今年で40年、運動会、学芸会などの築き上げた学校行事には、異国の地だからこそその独立心の強さを感じています。その40年の節目をどのようにしたらよいのだろうかと関係各位と考えているところです。

ありがとうございました。任期を終えて帰国されました。

阿部光宏先生 吉原秀明先生 野村栄史先生

新たに3名の職員が着任。皆様、よろしくお願ひします。

坪池 学 東京都杉並区から
関口 明日香 埼玉県八潮市から
樹下 幸代 兵庫県加古郡播磨町から